

会 議 録

会議の名称		第1回 川島町環境保全審議会並びに川島町廃棄物減量等推進審議会会議録
開催日時		令和4年9月29日(木)午後2時00分から3時38分まで
開催場所		川島町役場 2階 大会議室
議 事		(1) 川島町環境総合計画(環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画)の概要について (2) 川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)について (3) その他
公開・非公開の別		公開(傍聴者なし)
出席者	委 員	野澤 正弥・谷島 義明・野村 尚男・片山 博文・堀田 泰弘・後藤 真太郎・鈴木 貞美・堀口 郁子・鈴木 健・飯島久美子・瀬間 さやか・鈴木 克久・笠井 貴志 計13名
	事務局職員	町民生活課 課長 伊原 同 生活環境グループ 主幹 阿泉・主査 遠山 同 ごみ処理施設整備推進室 主査 北原 同 施設管理グループ 主幹 横山
配 付 資 料		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議次第</li> <li>・環境総合計画(見直し版)《環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画》</li> <li>・川島町一般廃棄物処理施設建設候補地の選定について(資料1)</li> <li>・環境基本計画の概要について(資料2-1)</li> <li>・清掃事業概要(令和3年度実績)(資料2-2)</li> <li>・川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)(令和3年一部修正)(資料3)</li> <li>・地球温暖化対策 年表(資料4)</li> </ul>
<p>審議会の内容・概要</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状の交付</li> <li>3 町長あいさつ</li> <li>4 会長、副課長の選出</li> <li>5 会長、副会長あいさつ</li> <li>6 報告事項 川島町一般廃棄物処理施設建設候補地の選定について</li> <li>7 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 川島町環境総合計画(環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画)の概要について 事務局より、川島町環境基本計画の概要(資料2-1)および一般廃棄物処理基本計画にもとづく清掃事業概要(資料2-2)について説明。 《質疑応答》 委 員 清掃事業概要について、新型コロナウイルス感染症があり、</li> </ol> </li> </ol>		

ごみの量が減少気味ということでしょうか？計画に対してはどのようなのですか？

事務局 平成28年度から令和3年度までの実績を表記していますが、総排出量について減少しています。

令和2年度には新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言に伴い、巣ごもり状態から家の中を片付ける家庭が増え、資源ごみが多くなりましたが、令和3年度には落ち着きました。

可燃ごみの量について、分別が進んだことで資源ごみに替わっています。

事業系ごみについては、平成28年度に手数料の値上げを行ったことと、事業からごみ削減の協力を得られたことなどによって、大きく減らすことができました。

集計においては、資源ごみもごみとして扱うため、ごみの減量化を行うには「可燃ごみも資源ごみも出さない」ということになります。町民に周知を行い、ごみ減量化を進めていきたいと考えています。

委員 資源ごみについては、対象となる種類が増えています。焼却後の灰も、資源となります。排出量は、時代の変化により、変わってゆくものです。統計について、もう少し長いスパンで見るとはどうかと考えます。

事務局 ライフスタイルの変化で、ごみを出す状況が変わってきているので、長いスパンで排出量を見ていきたいと思います。焼却灰については、ご指摘のとおりセメントや路盤材の資源となります。

委員 資料にSDGsのマークがついているが、そちらの効果は上がっているのでしょうか？

事務局 SDGsの効果については、未検証です。

委員 立正大学の品川キャンパスでは、地域でSDGsが定着するよう学生発案により子ども向けのゲームや大喜利を行い、反響があります。学校教育に取り入れてはどうかと思います。

事務局 参考にさせていただきます。

#### 【議事1について承認】

#### (2) 川島町地球温暖化対策実行計画（事務・事業編）について

事務局より、川島町地球温暖化対策実行計画（事務・事業編）の内容について（資料3）および地球温暖化対策実行計画推進会議の内容（資料4）について説明

《質疑応答》

委員 平成29及び30年度の温室効果ガス排出量に関する実績はありますか？

事務局 平成29・30年度について、比較できる詳細なデータが残っていません。

委員 チェックリストについて、同様のものをつくったことがあるが、節電策などをやり切ってしまうと、その先がなくなってし

まい、逆にリバウンドして、使用量が増加してしまう可能性がある。温暖化対策の施策、考え方として、施設建設の際に自然からエネルギーを生み出す設備を導入し、売電するなど、プラスに転じるものを考えてはどうでしょう。また、企業とのコラボレーションを検討するなど、視野を広げないと、数字が先細りになってしまいます。

委員 15%の削減目標達成は、現状では厳しいのではないのでしょうか。照明施設のLED化などを行ってはどうでしょう？


事務局 施設を管理する課で検討している模様です。

【議事2について承認】

5 その他

事務局より、出席に伴う報酬の額と振込時期について説明  
次回会議について、令和5年3月下旬を候補日とする旨伝達。

6 閉会

署 名	野澤正弘 
	谷島義明 